

計画策定までの流れ

地域の強み

■地域の強みを出し合いました。

- ・自然に恵まれた地形で住みやすい。
- ・台風や風水害の災害が少ない。
- ・夏祭りや神輿の伝統行事が多い。
- ・防災・防犯に対する住民意識が高まってきている。
- ・JR岡本駅を起点とした、交通の利便性が改善され、良くなってきている。
- ・地域内交通の充実により高齢者等の外出の機会が増えている。

課題の抽出

■地域で気になること(課題)について話し合いました。

- ・高齢化が進んでいる。
- ・ひとり暮らしのお年寄りが増えている。
- ・近所付き合いが希薄になっている。
- ・道路が狭く交通量が多いため渋滞が多々発生している。
- ・商店が少なく買い物が不便な地域が一部に見受けられる。
- ・空き家が増えた。
- ・マンションやアパート住人の自治会加入減。
- ・古くから住んでいる住民と新しい住民の交流がない。

目指す地域の姿

■目指したい地域の姿の意見を出し合った中から、計画のタイトルを決めました。

- ・人と人との結びつきが深められるような地域を目指します。
- ・地域住民の健康長寿を目指します。
- ・みんなが顔見知りになれるような地域を目指します。
- ・誰もが安心して住める地域を目指します。

実現のために取り組むこと

■課題4つの基本目標の категорияに分類し、その解決と、目指す地域の姿を実現するために、地域で取り組む具体的な内容を導き出しました。

計画の完成

水と人とが共存する河内



地域共生を目指して



出典：河内地区まちづくり協議会
キャラクターサキちゃんソウくん



地域ので

河内地区 福祉のまちづくり計画

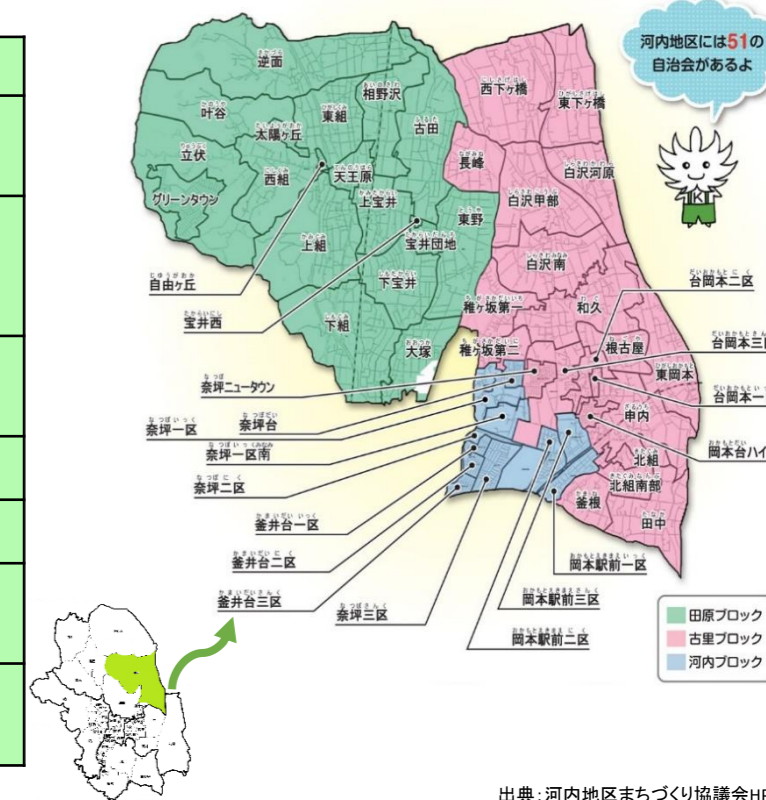
《令和7年度～令和9年度(3年間)》

福祉のまちづくり計画って？

地区の福祉課題を把握し、その解決のために今後どのような活動に取り組んでいくのか、また、将来の姿を見据えて「福祉のまちづくり」をどのようにすれば実現できるのかを、地区のみなさんで話し合い、中期的(3～5年程度)にまとめた計画です。

河内地区の現状 (令和6年9月30日現在)

	河内地区	宇都宮市	
人口	年少人口 (0～14)	4,217人 (12.19%)	61,616人 (11.98%)
	生産年齢人口 (15～64)	19,991人 (57.79%)	317,131人 (61.64%)
	高齢者人口 (65～)	10,386人 (30.02%)	135,743人 (26.38%)
	合計	34,594人	514,490人
	自治会数	51	784
自治会加入 世帯数	9,310	145,557	
全世帯数 (加入率)	14,803 (62.8%)	237,764 (61.2%)	



出典：河内地区まちづくり協議会HP

河内地区の特徴

【歴史】 地域のあゆみ	昭和30年	昭和41年 昭和53年	平成2年 平成13年	平成19年	平成26年	平成28年	平成31年
	古里村と田原村が合併し「河内村」誕生	町制施行により「河内町」となる 町花「サギソウ」町木「ツゲ」 河内音頭制定	人口3万人達成 ドリームプールかわち 完成	宇都宮市と合併	地域内交通「さぎそう河内号」 運行開始	地域ビジョン「自然と人を大切に 絆で結ぶ楽しいかわち」策定	河内地区「福祉のまちづくり計画」 策定推進中

【地理】
宇都宮市の北東部に位置し、東は鬼怒川を挟んでさくら市と高根沢町と接している。地区の面積は47.72km²、東西8.5km、南北10kmの台形に似た形をしている。東部の低地及び台地が全体の約8割を占め、西部の丘陵地が2割を占めている。

【交通】
宇都宮市中心部から放射線状に伸びる国道4号線、県道氏家宇都宮線（白沢街道）及び主要地方道の藤原宇都宮線（田原街道）などの国道・県道が地区の骨格をなしており、市街地もそれらに沿って形成されている。鉄道は、JR宇都宮線の岡本駅があり、地区の玄関口として多くの通勤・通学者に利用されている。

【現状】
河内地区における「福祉のまちづくり計画」は、平成28年4月より地区社協の中の、福祉のまちづくり部会として事業計画の策定に着手した。令和5年度、6年度においては、宇都宮市社会福祉協議会の第5次宇都宮市地域福祉活動計画の方針に基づく、39地区一斉の「福祉のまちづくり計画」策定、実施に向けて当地区の基本目標も見直し改訂に取り組んでいるところである。

発行年月日：令和7年3月

編集：河内地区 福祉のまちづくり計画推進委員会

連絡先：河内地区社会福祉協議会 (☎080-5459-4265)

宇都宮市社会福祉協議会 (☎028-636-1215)

誰もが安心して住める河内地区にしよう！

地区の皆さんから出された地区の課題を整理して、目指す地区の姿を考え、それを実現するために必要な取り組みと、地区の強みを生かした、具体的な実行計画を立てました。

基本目標	抽出された課題	取組	具体的な取組(内容)	活動主体	2025 ~2026	2027	2028
1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域事業の参加者が固定。 ・福祉協力員の担い手不足。 	地域の人材を発掘し、皆が役割を持ちイキイキ暮らせる街を目指します。	<ol style="list-style-type: none"> ①子どもから大人まで、障がいや高齢について学ぶ機会を設ける。 ②老人クラブやサークル、ふれあい・いきいきサロン等の加入促進。(生きがいを持てる活動を) ③認知症サポーターの増員や学ぶ機会の創出。 	<ol style="list-style-type: none"> ①まち協・育成会・老人クラブ・民生児童委員・地区社協・NPO・福祉団体・地域企業等 ②老人クラブ・自治会等 ③包括支援センター・地区社協・福祉協力員・地域企業等 	実施		第6次宇都宮市地域福祉活動計画と併せてリニューアルし、策定・推進し
2. 安心して暮らせる福祉の基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・商店が少なく買い物が不便。 ・空き家が増えた。 ・交通の便が悪い。 	人がつながれる場づくりから、安心して暮らせる街をめざします。	<ol style="list-style-type: none"> ①共に支え合い助け合う活動の展開。 ②空き家を活用したサロン等の運営。 ③地区内の子どもから高齢者まで交流できる場づくり(子どもの居場所づくり等)。 ④安心安全情報キットの周知・啓発。 ⑤行政への提案。 	自治会・民生児童委員・福祉協力員、地域住民等	実施		
3. 共に支え合う地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進んでいる。 ・近所付き合いの減少。 ・古くから住んでいる住民と新しい住民の交流がない。 	みんなが顔見知りになり助け合える地域を目指します。	<ol style="list-style-type: none"> ①高齢者やひとり暮らしの方の見守り活動の充実。 ②笑顔であいさつ運動の展開。 ③地区や自治会ごとの行事を活性化し、人と人の結びつきを深める。 ④スマホやPC教室の開催。 	<ol style="list-style-type: none"> ①自治会・民生児童委員・福祉協力員等 ②まち協・地区社協・福祉協力員・自治会・民生児童委員等 ③自治会・まち協等 ④自治会・NPO等 	実施		
4. 安全な地域づくり(地区独自目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車や自転車マナーが悪く通行が危険。 ・交通量が多く高齢者の道路横断が危険。 	地域住民が安心して暮らせる街をめざします。	<ol style="list-style-type: none"> ①歩行者や自転車、車を運転する人のマナー向上のための取組をすすめる。(高齢者の交通安全教室、学校への周知啓発) 	まち協・交通安全推進協議会・自治会・老人クラブ等	実施		

